

第4回
行田らしいまち並みづくりと
にぎわい創出基本計画
検討委員会

(1) 行田らしいまち並みづくりと
にぎわい創出基本計画（素案）

2014年
1月21日（火）

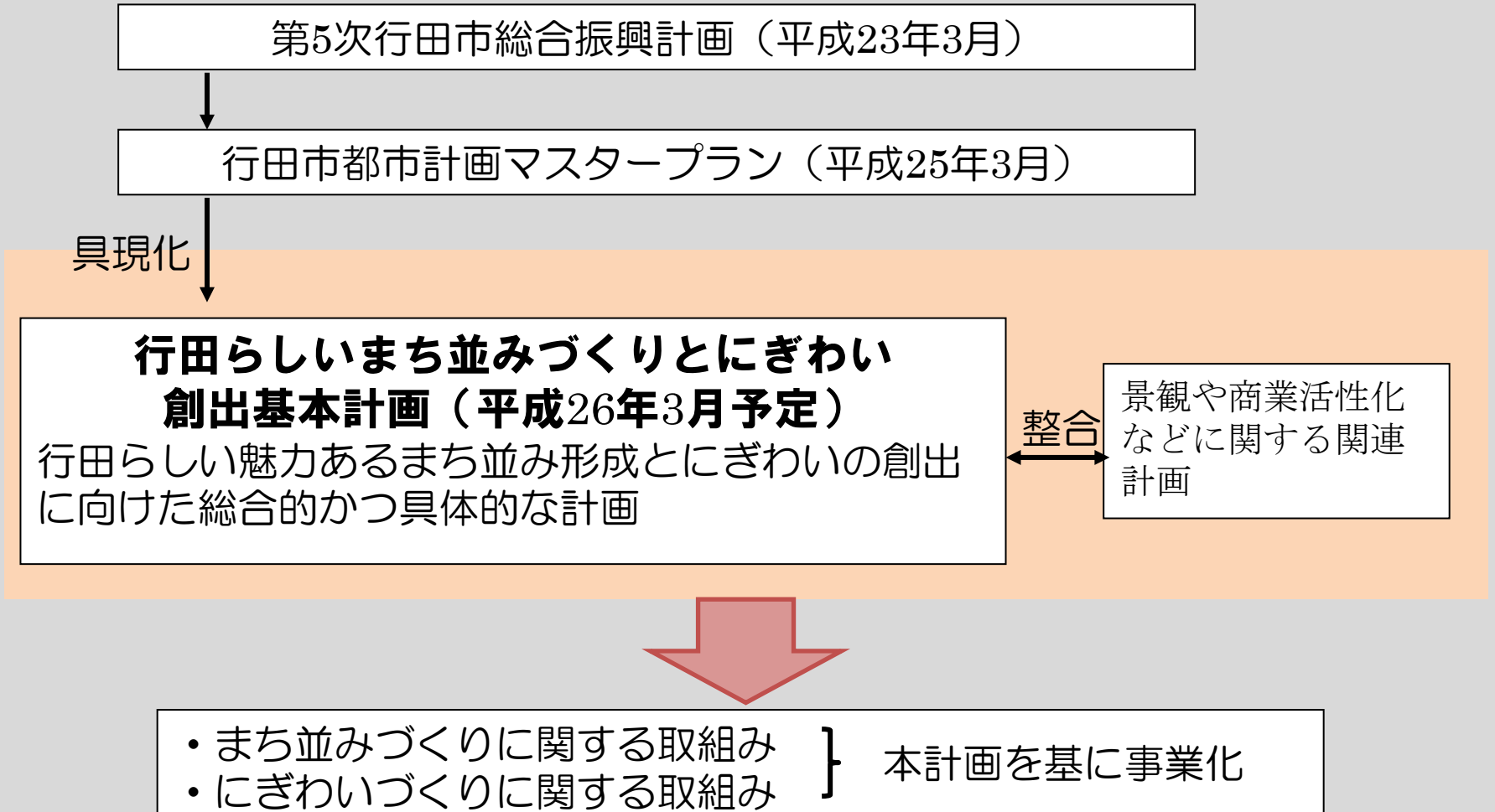
説明資料

第1章 はじめに

1. 計画の背景と目的

本計画は、個性的で豊かなまちづくりの実現に向け、地域資源を活用し、まちづくりの主体者の顔が見える計画を策定し、**行田らしい魅力あるまち並み形成とにぎわいの創出を図ることを目的。**

2. 計画の位置づけ



3. 計画の策定体制

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会

- (構成)
- ・ 学識経験者
 - ・ 各種団体から推薦された者
 - ・ 関係行政機関又は埼玉県
 - ・ 公募市民



ワーキング委員会

- (構成)
- ・ 企画政策課
 - ・ 都市計画課
 - ・ 商工観光課
 - ・ 文化財保護課



行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりの検討

- ・ 市全域における行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりの方向性を検討

モデル地区

モデル地区の具体的な施策・事業を検討

反映

景観まちづくり
ワークショップ
【4回実施】



景観まちづくりに関する市民アンケート調査

第1章 はじめに（目的・位置づけ）

第2章 前提条件の整理（上位・関連計画の整理）

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

- ・地域資源の特性
- ・市民意向に関する特性
- ・これまでの取組みの整理
- ・まち並みとにぎわいづくりの課題

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

- ・行田らしさを活かしたまちづくりとは
- ・地域資源を核としたまちづくりの方針
- ・行田らしさを活かしたまちづくりの方針
- ・地域資源のつながりに関する方針

第5章 モデル地区の概要

- ・モデル地区の選定
- ・モデル地区における市民意向と課題
- ・モデル地区の概要

第6章 モデル地区の方針と具体的施策

- ・モデル地区の展開
- ・方針別の具体的施策
- ・モデル地区の方針
- ・施策展開の方針

第7章 事業推進に向けたプログラム

- ・施策・事業の実現化方策
- ・役割分担とスケジュール
- ・段階的な取組み内容

第1回
検討委員
会での検
討内容

第2回
検討委員
会での検
討内容

第3回
検討委員
会での検
討内容

第2章 前提条件の整理

1. 上位関連計画の整理

- 第5次行田市総合振興計画、行田市都市計画マスタープラン、行田市景観計画、行田地域の足袋蔵等の保全・活用のための調査と提案報告書

2. 歴史的条件

3. 社会的条件

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

1. 地域資源の特性

- 歴史・文化的資源の特性、自然資源の特性、生活・産業資源の特性

2. これまでの取組みの整理

- これまでの取組み・事業、市民主体のまちづくり活動

3. 市民意向に関する特性

- 行田市の景観まちづくりに関する市民アンケート調査
- 各地域における重要な景観まちづくりの資源
- 行田らしい景観まちづくりの方向性
- 「歴史・文化」をテーマとした景観まちづくりの方向性

4. まち並みとにぎわいづくりの課題

(1) 地域資源の活用に関する課題

- ✓ 埼玉古墳群や忍城址、石田堤等の歴史的な景観資源のつながりをつくる必要がある
- ✓ 市街地に点在する歴史・文化資源の活用と連携が求められる
- ✓ 中心市街地における空き家や空地の活用や新たな拠点づくりによるにぎわいの創出が必要である
- ✓ 既存の周辺環境と調和した良好な住宅地形成に向けた取組みが求められる
- ✓ 市の骨格となる、利根川や田園、屋敷林による農村景観の継承をしていく必要がある

(2) まち並みづくりに関する課題

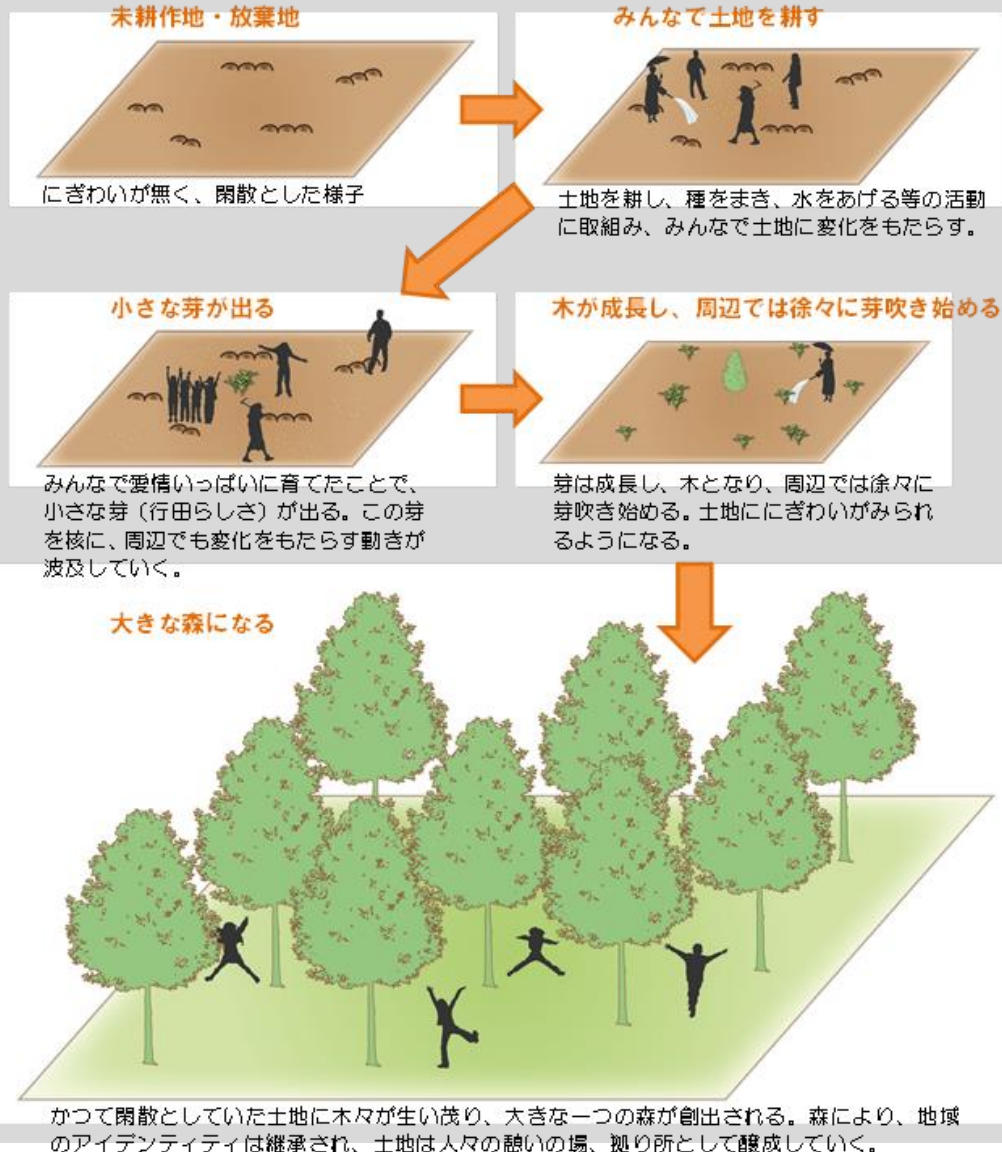
- ✓ 市内に点在する歴史・文化資源や自然資源と調和したまち並み形成が求められる
- ✓ 市民と行政が将来のまち並みを共有し、一体的な空間づくりが求められる
- ✓ 地域住民の主体的な景観まちづくり活動やまち並みづくりが求められる

(3) にぎわいづくりに関する課題

- ✓ 古代蓮の里や水城公園など、水や緑の自然環境を骨格とした地域資源のネットワークが必要である
- ✓ 中心市街地の資源をつなぎ、回遊性のあるまちづくりとにぎわい創出に向けた空間の整備が求められる
- ✓ 活発な市民活動を効果的に活かすネットワークづくりが求められる

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

1. 行田らしいまちづくりの基本理念



2. 行田らしさを活かしたまちづくりとは

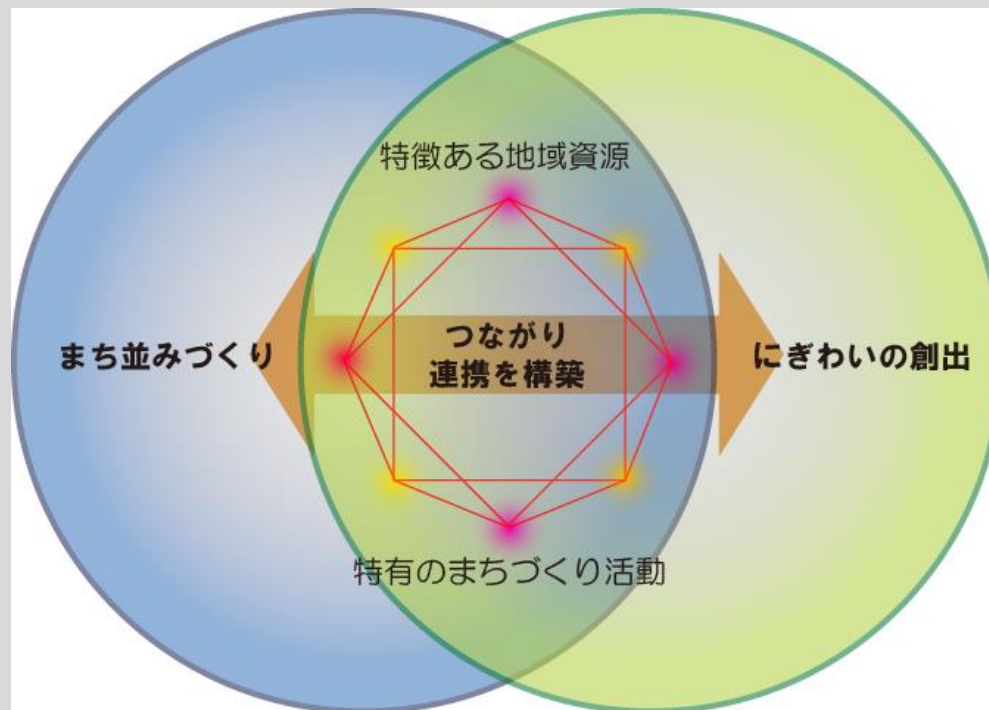
(1) “行田らしさ” とは

- 広々とした平坦な地形が特徴であり、生活の営みや歴史・文化の発展の基盤である【地形“らしさ”】
 - 自然資源に恵まれ、生活も歴史も「水」と共生してきた【自然“らしさ”】
 - 古代から現代まで連綿と続く歴史が重層している【歴史“らしさ”】
 - 北関東の中心として栄えた文化があり、埼玉県名発祥の地である【文化“らしさ”】
 - 先人が培ってきた文化の継承が、市民の誇りにつながっている【気風“らしさ”】
- ⇒ “行田らしい” 風土をまちづくりに活かし、本市の成長につなげていく。

2. “行田らしさ”を活かしたまちづくりの方向性

“行田らしい”風土を活かした、にぎわいにつなげるまちづくり

“行田らしさ”を活かしたまちづくりのイメージ



“行田らしさ”を活かしたまちづくりの実現

3. 行田らしさを活かしたまちづくりの方針

(1) 「行田らしい」まち並みづくりの方針

方針①：行田らしい特徴的な資源と調和したまち並みを形成する

方針②：暮らしと公的空間が一体となったまち並みを形成する

方針③：住みやすく、快適に過ごしやすいまち並みを形成する

(2) 「行田らしい」にぎわい創出の方針

方針①：核となる資源を活用し、地域の活性化とにぎわいを広げる

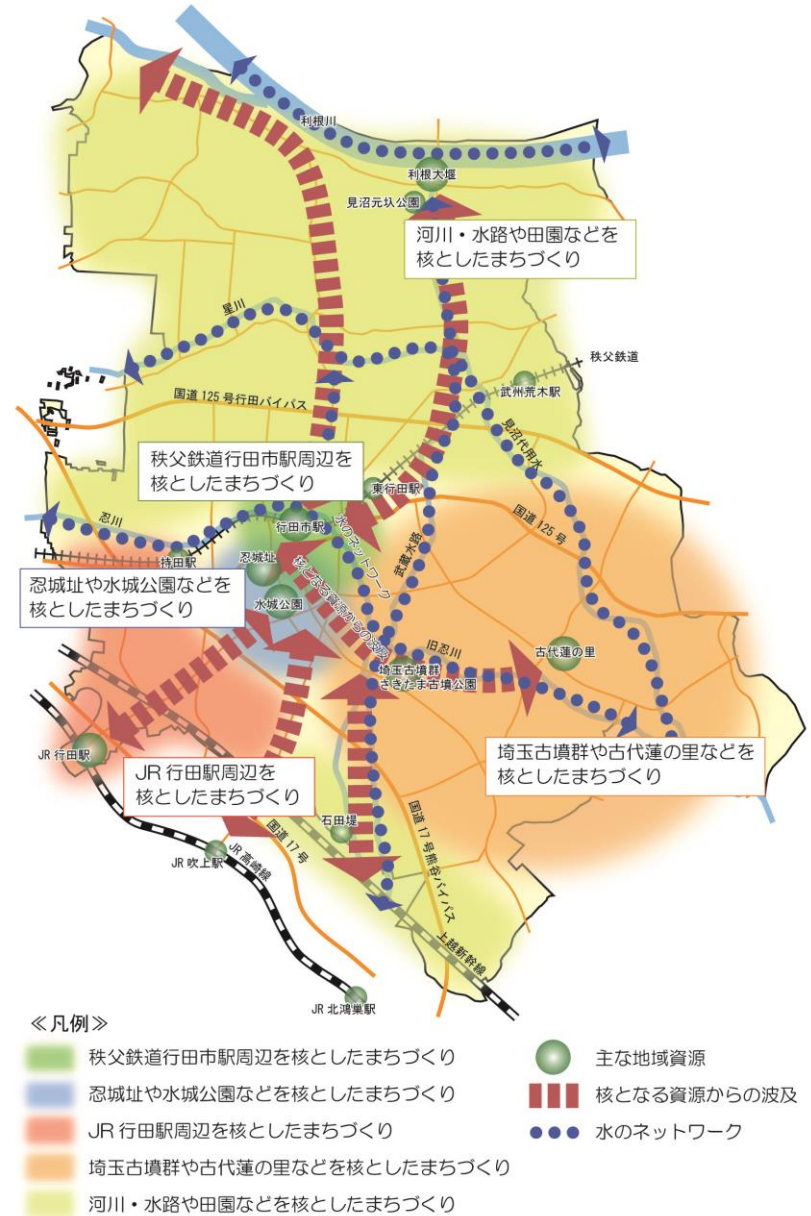
方針②：周辺の資源と連携し、地域から市全体のにぎわいにつなげる

方針③：まちづくりの取組みが相互に連携し、新たなにぎわいを生み出す

4. 地域資源を核としたまちづくりの方針

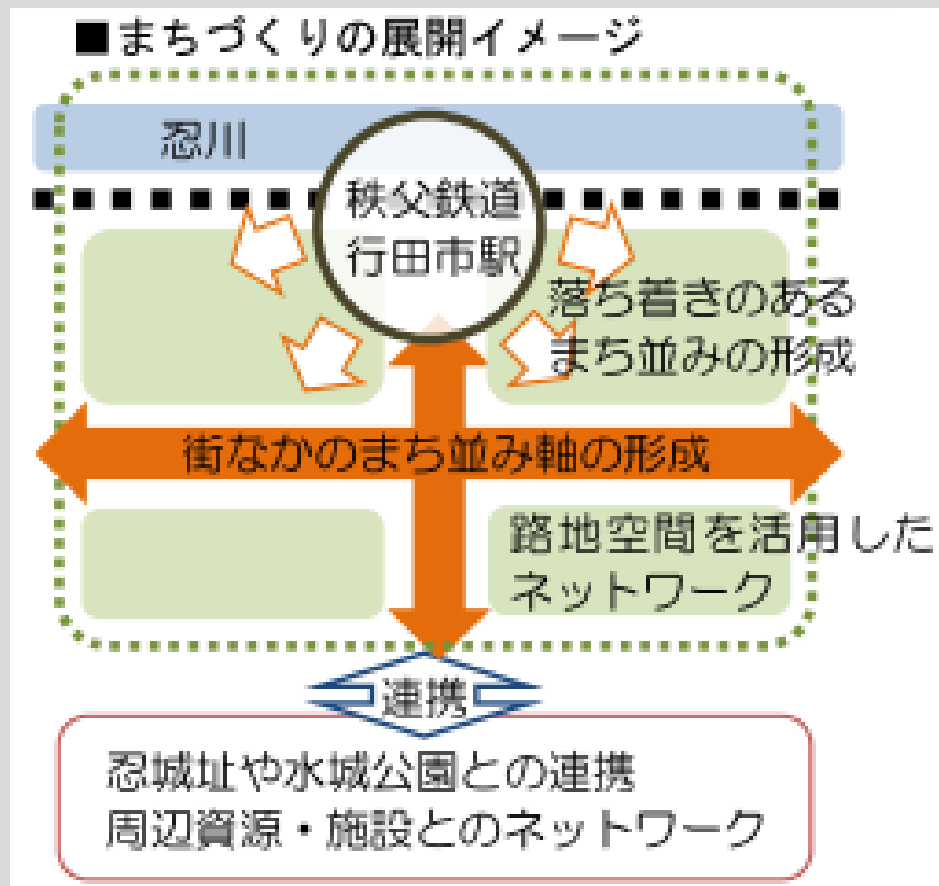
核となる主な地域資源

- JR行田駅
- 秩父鉄道行田市駅などの交通結節点
- 忍城址
- 水城公園
- 埼玉古墳群（さきたま古墳公園）
- 古代蓮の里
- 利根川・忍川・武蔵水路などの河川や水路
- 平坦な地形に広がる田園
- 足袋蔵などの歴史的建築物



(1) 秩父鉄道行田市駅周辺を核としたまちづくり方針

歴史・文化と暮らしが調和し、にぎわい溢れるまちづくり



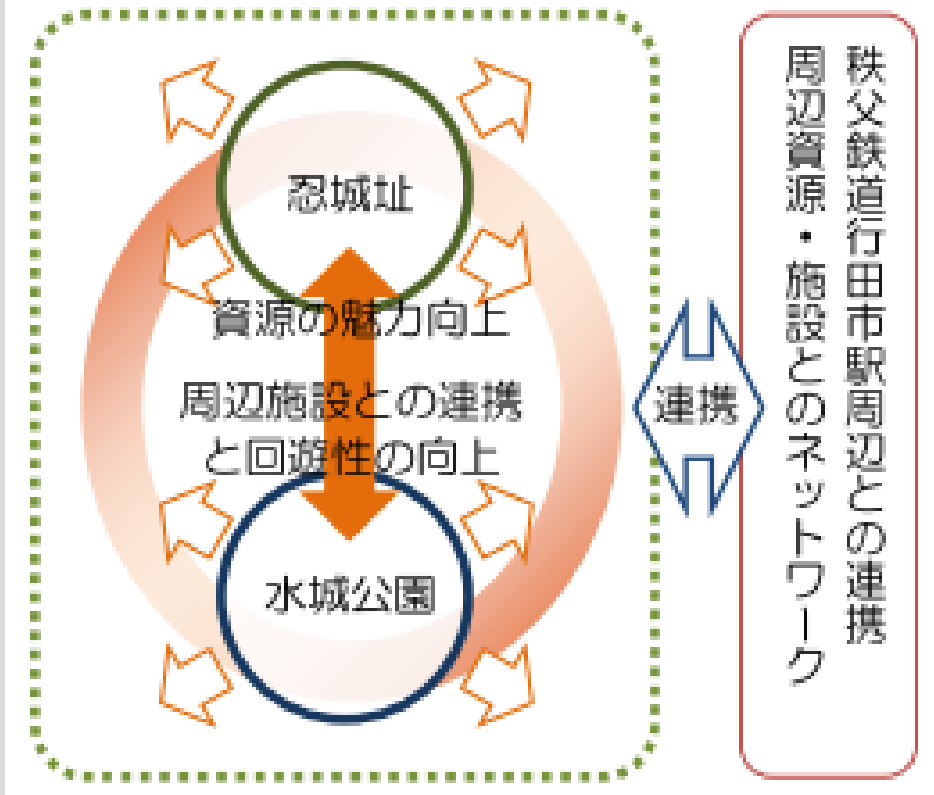
取組みの方向

- ◆歴史的建築物と周辺の住宅・店舗が調和した落ち着いたまち並みを形成する
- ◆路地空間を活用し、つながりをつくることにより、にぎわいを向上する

(2) 忍城址や水城公園などを核としたまちづくり方針

水と緑の歴史が織りなすまちづくり

■まちづくりの展開イメージ



取組みの方向

- ◆忍城址の眺望の確保と、水や緑と調和したまち並みを形成する
- ◆誰もが歩いて回遊し、水と緑にふれあうことができる空間を創出する

(3) JR行田駅周辺を核としたまちづくりの方針

利便性を活かした定住と交流によるにぎわいづくり

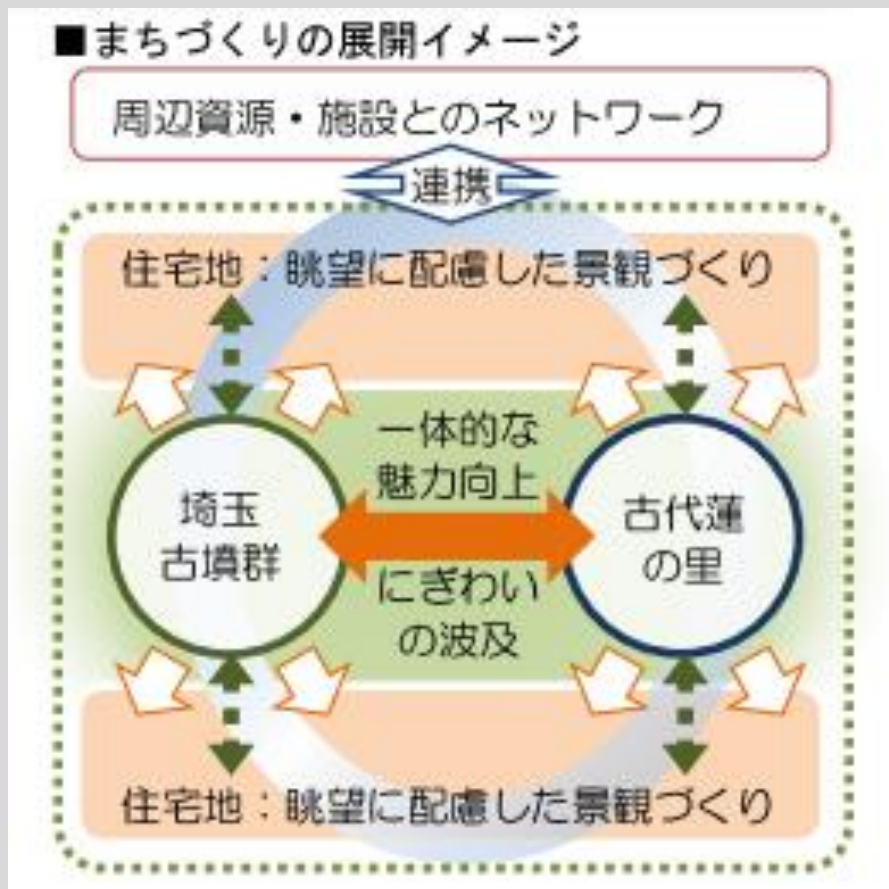


取組みの方向

- ◆“住みやすい”と思う良好なまち並みを形成し、住み続けることができる環境を形成する
- ◆南の玄関口としての拠点性を高め、地域資源との連携を強化する

(4) 埼玉古墳群や古代蓮の里などを核としたまちづくり方針

古代からの歴史と自然を活かしたまちづくり



取組みの方向

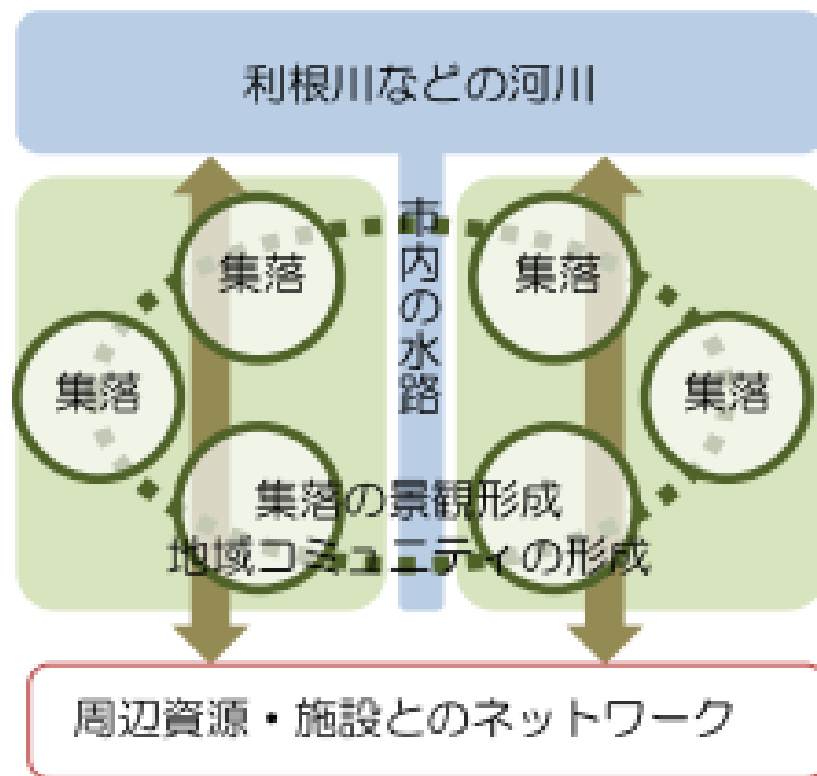
◆埼玉古墳群や古代蓮の里との調和や各施設からの見え方に配慮したまち並みを形成する

◆核となる資源の歴史・文化の継承と周辺に波及をもたらすにぎわいを創出する

(5) 河川・水路や田園などを核としたまちづくり方針

河川・水路や田園風景の豊かな自然と調和したまちづくり

■まちづくりの展開イメージ



取組みの方向

- ◆遠方の眺望景観と調和した、平坦な地形に広がる緑豊かな景観を形成する
- ◆定住の促進によるコミュニティの維持により、地域のにぎわいを継承する

5. 地域資源のつながりに関する方針

(1) 地域資源の連携方針

核となる資源を有機的につなぎ、行田らしさの魅力を向上する

(2) まちづくり活動の連携方針

本市特有のまちづくり活動が相互に連携し、行田らしさの魅力を向上する

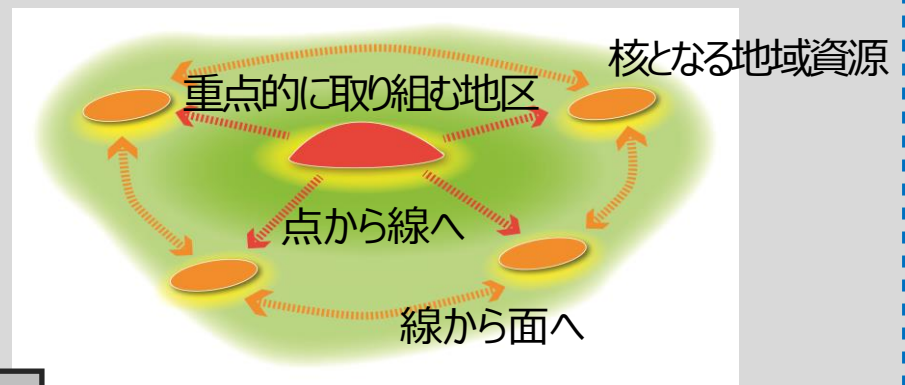
6. 行田らしいまちづくりの推進の考え方

推進方策

『“行田らしさ”を活かしたまちづくり』の実現のために...

○地域資源を核としたまちづくりを連携して進める

まちづくりの活発な動きを
点から線へと、線から面へとつなげる



“行田らしさ”を象徴する地区において、まち並みやにぎわいに関して重点的に取り組む

〈重点的に取り組む視点〉

地形

自然

歴史

文化

気風

モデル地区を選定し、具体的な取組みを実施

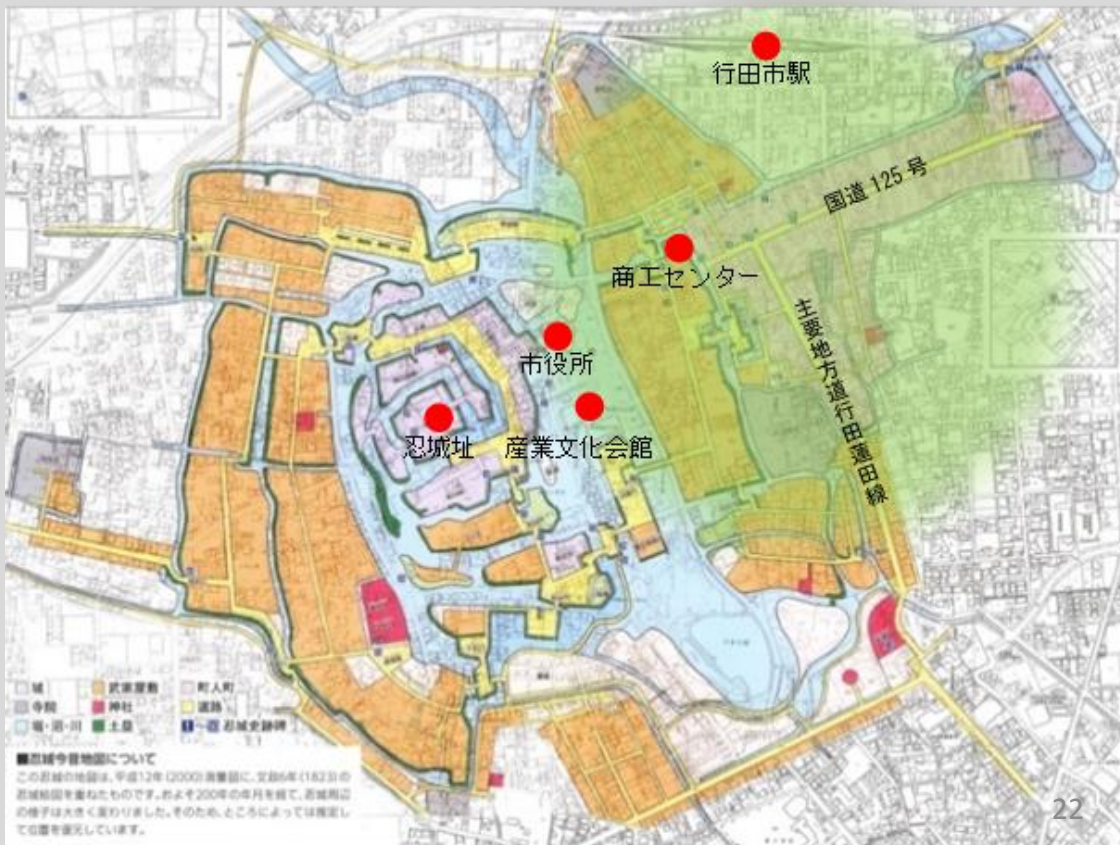
実現化方策

第5章 モデル地区の概要

1. モデル地区の選定

- “行田らしさ” が集積している地区
- 市民活動が盛んに行われている地区
- 観光や暮らしにおける拠点施設から近い地区

⇒秩父鉄道行田市駅
周辺の歴史的建築物
が集積するエリア



2. モデル地区の概要

(1) 問題

- 市内でも特に人口が減少傾向
- 高齢化が進行している
- 空き家や空き店舗、空き地等の低未利用空間が増加し、にぎわいの低下
- 市民活動が盛んな地区で、主体的な取組みが進められているが、主体間の連携が不足

(2) モデル地区における市民意向

ー景観ワークショップの意見のまとめー

- 歴史的な建物が残り、地域資源が沢山あるが、案内表示やサインに統一感が無く、分かりにくいいため、統一感があり、まち並みに溶け込むデザインの案内表示やサインを設置していくと良い。
- 歴史あるまち並みが形成されているが、商店街のアーケード等によりまち並みが目立たない。
- 地域の重要な資源として、歴史的建築物を保存・活用を積極的に図っていくと良い。
- 空き家や空き地、空き店舗が目立つため、地域の交流空間や来訪者へのおもてなしの空間として活用すると良い。
- 蓮華寺通りの舗装は見た目が良く、歩きやすいため、他の路地や通りでも舗装の整備を進めて欲しい。
- 地域が主体となり、路地に花を植えるなど、まち並み整備のためのまちづくりを行っていくと良い。
- 忍城址やまちなかなど資源間のつながりが無いため、歩きやすく、回遊しやすいルートを考えていくと良い。
- 国道125号の童・銅人形が景観的に良いため、活用していくべきである。

(2) モデル地区における市民意向

ー景観まちづくりに関する市民アンケートの意見のまとめー

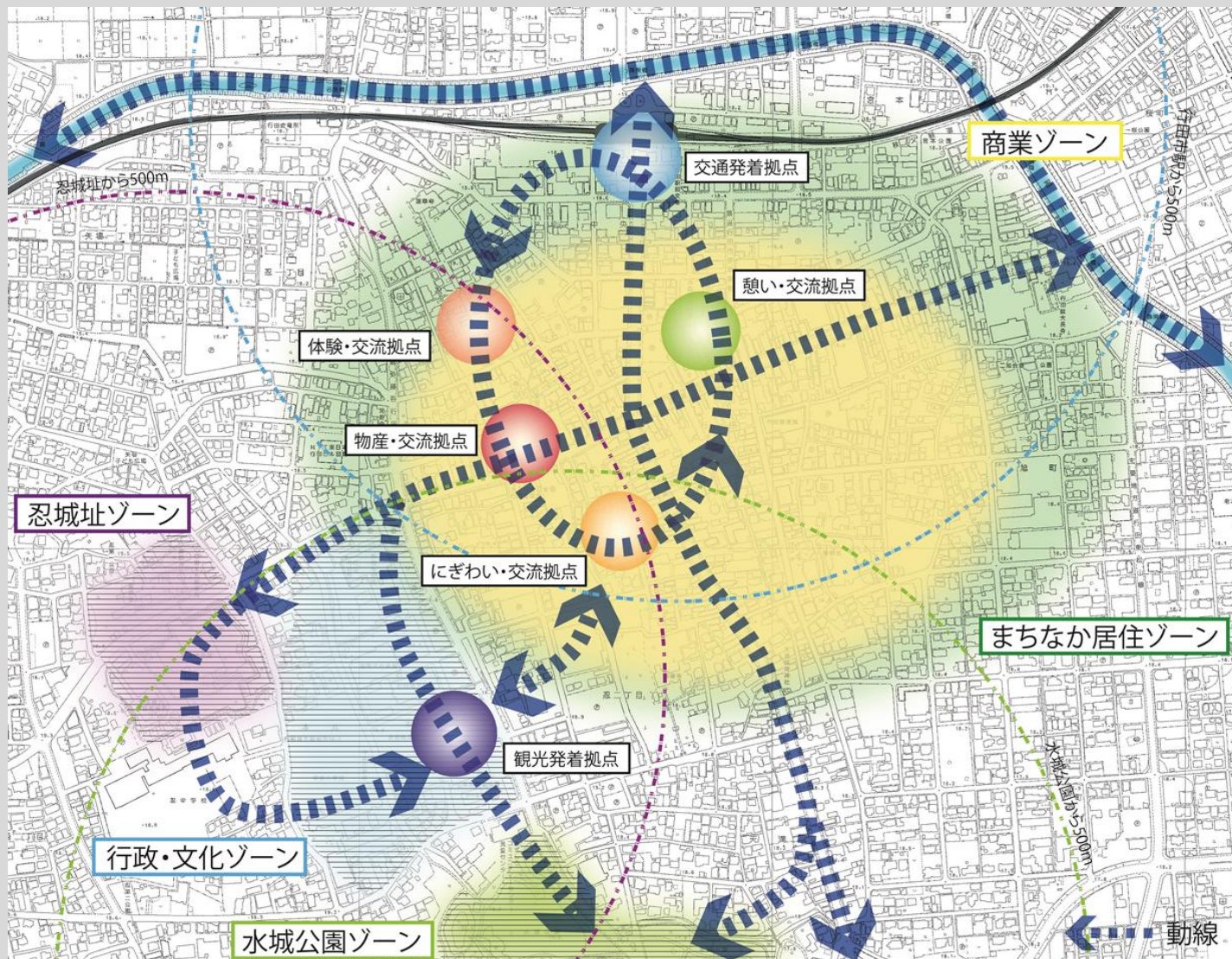
- 現在のモデル地区のイメージは、「さみしい」「さびれた」「雑然とした」というマイナスなイメージを持たれている。
- 将来のモデル地区の望ましいイメージは、歴史が感じられ、人々が来訪する、落ち着いた地区である。
- 重要な取組みとして、歴史的建築物を保存・改修・活用したまち並みの整備、歴史・文化的資源を核とした周辺の景観の整備、建物の外観等の修景等によるまち並みの整備、低未利用地の活用を進めることが挙がる。
- 参加したい活動として、イベントなど活動への参加のしやすさが重要である。また、まち並みづくりやまち並みの環境整備に向けた活動に参加する意識がある。

(3) モデル地区の課題

- ✓ 地域住民や事業者、団体等の連携による市民等の主体的なまちづくりが必要である
- ✓ モデル地区内に点在する歴史・文化的資源を活用し、市民や来訪者が回遊できる取組みが必要である
- ✓ 水や緑などの行田らしさを活かした、快適な空間づくりが必要である
- ✓ 人口減少と低未利用地の増加に歯止めをかけ、誰もが訪れたい、住みたいと思うまちづくりが必要である
- ✓ 新町通りや本町通り、旧北谷通り、蓮華寺通りなど、通りやエリアの特徴を活かしたまちづくりが必要である

第6章 モデル地区の方針と具体的施策

1. モデル地区の展開



2. モデル地区の方針

(1) モデル地区の方針と目標

方針1：人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

目指すべき目標：まちづくり活動の参加者を増やす

現状値：48.1%（平成21年度） ⇒ 目標値：70.0%（平成35年度）

方針2：歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

目指すべき目標：歴史的なまちづくりに興味を持つ人を増やす

現状値：32.8%（平成25年度） ⇒ 目標値：50.0%（平成35年度）

方針3：水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

目指すべき目標：緑化活動や美化活動に興味を持つ人を増やす

現状値：26.3%（平成25年度） ⇒ 目標値：40.0%（平成35年度）

方針4：暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

目指すべき目標：訪れたい、住みたいと思う人を増やす

①現状値：9,674人（平成22年度）

⇒ 目標値：10,000人（平成35年度）

②現状値：1,010,600人（平成21年度）

⇒ 目標値：2,000,000人（平成35年度）

(2) 方針別の施策体系

課題 地域住民や事業者、団体等の連携による市民等の主体的なまちづくりが必要である

方針1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

- 1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会などの設置
- 1-2 地域におけるまち並み点検
- 1-3 地域資源の発掘とリスト化
- 1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援
- 1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援



方針 1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

- 1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援
- 1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援
- 1-8 集客のためのイベントの企画・実施
- 1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援
- 1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全の支援
- 1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信
- 1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成



課題 モデル地区内に点在する歴史・文化的資源を活用し、市民や来訪者が回遊できる取組みが必要である

方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

- 2-1 景観形成に関するルールづくり
- 2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用
- 2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備
- 2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）



方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

- 2-5 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化
- 2-6 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置
- 2-7 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一
- 2-8 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備



課題 水や緑などの行田らしさを活かした、快適な空間づくりが必要である

方針3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

- 3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備
- 3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備
- 3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全
- 3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備



課題 人口減少と低未利用地の増加に歯止めをかけ、誰もが訪れたい、住みたいと思うまちづくりが必要である

方針4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

- 4-1 都市機能の集約に向けた拠点の整備
- 4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備
- 4-3 空き店舗を活用した商店街の活性化
- 4-4 商店街におけるにぎわいが感じられる店舗前空間の形成
- 4-5 若者の定住促進
- 4-6 地元の素材を使った特産品の開発及び販売



4. 施策展開の方針

(1) 施策の展開方向

【軸の方針】

① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

- ◆本町通り周辺のまち並み軸
- ◆秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸

② 水辺のまち並み保全・形成軸

- ◆忍川周辺の水辺空間軸

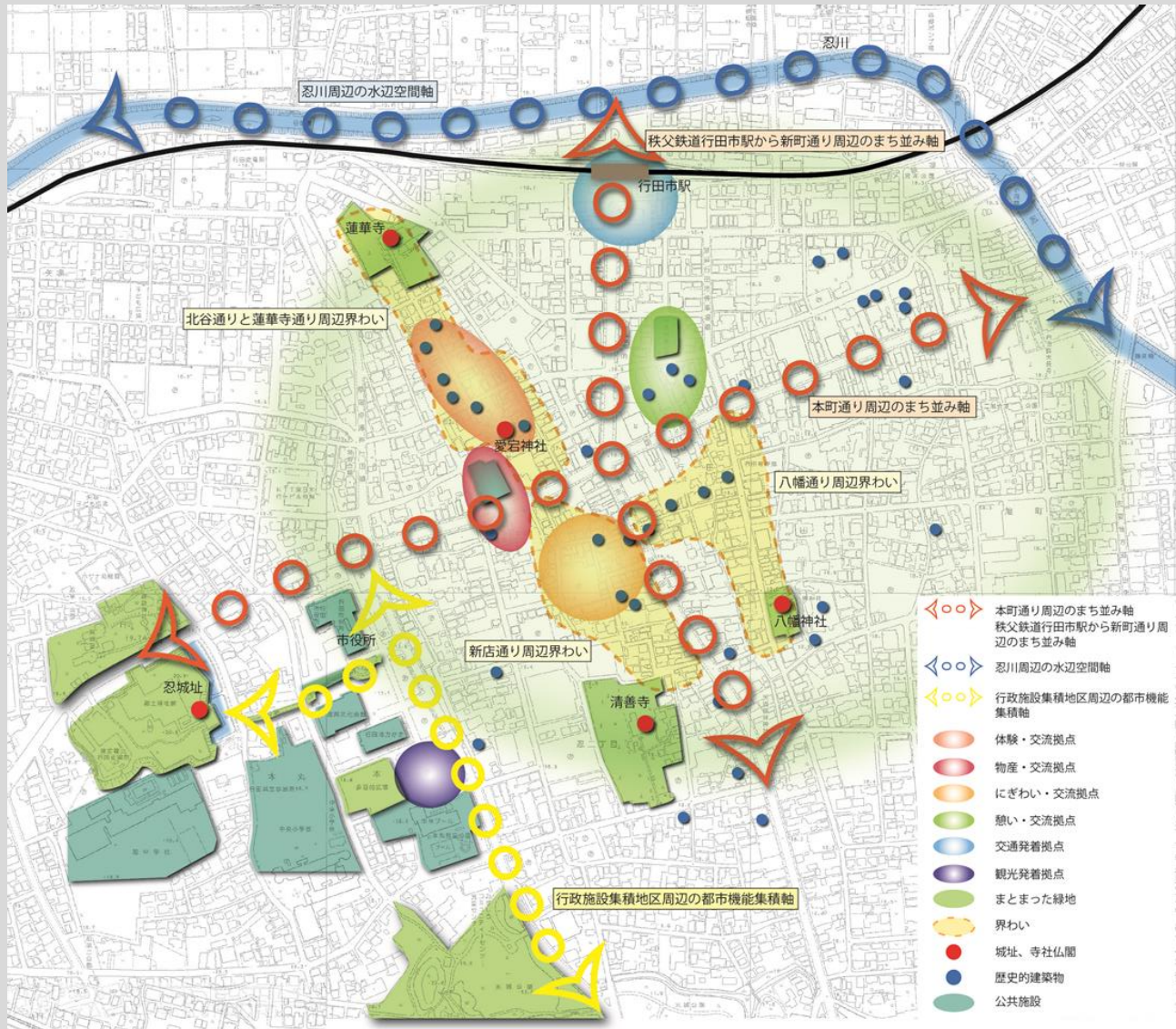
③ 行政施設集積地区と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

- ◆行政施設集積地区周辺の都市機能集積軸

【界わい・まちかどの方針】

- ◆北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど
- ◆新店通り周辺の界わい・まちかど
- ◆八幡通り周辺の界わい・まちかど

■モデル地区の施策展開方針図



(2) 軸の具体的施策

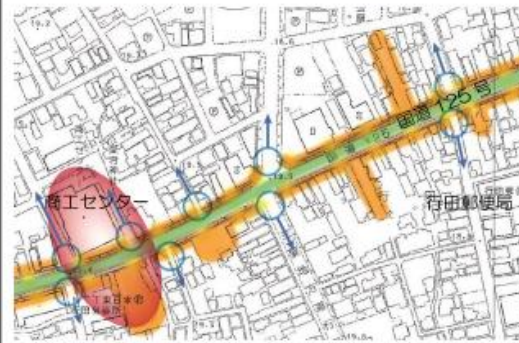
① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

【本町通り周辺のまち並み軸】

国道125号周辺の市の中心軸として、童・銅人形や点在する歴史的建築物を活用したまち並みづくりと空き地等を活用したにぎわいの創出を図ります。

忍城址と公共施設とのつながりを強化し、“まちなかの顔”をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

- | | |
|--|--|
| ・物産・交流拠点の整備 | |
| ・歴史的建築物を活かした景観形成のルールづくり
・沿道の童・銅人形や空き店舗等を活用したにぎわいの創出 | |
| ・空き店舗や空き地等を活用した休憩場所の設置 | |
| ・街路樹と植栽による通りの連続性の創出 | |
| ・段差を無くした歩きやすい歩道の整備 | |
| ・まち並みと歩道のライトアップによる演出 | |
| ・分かりやすく、統一感のある案内表示の設置 | |

具体的施策イメージ図



【秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸】

行田市駅から商店街をつなぐにぎわいの軸として、点在する歴史的建築物や空き店舗を活用したまちづくりを図ります。

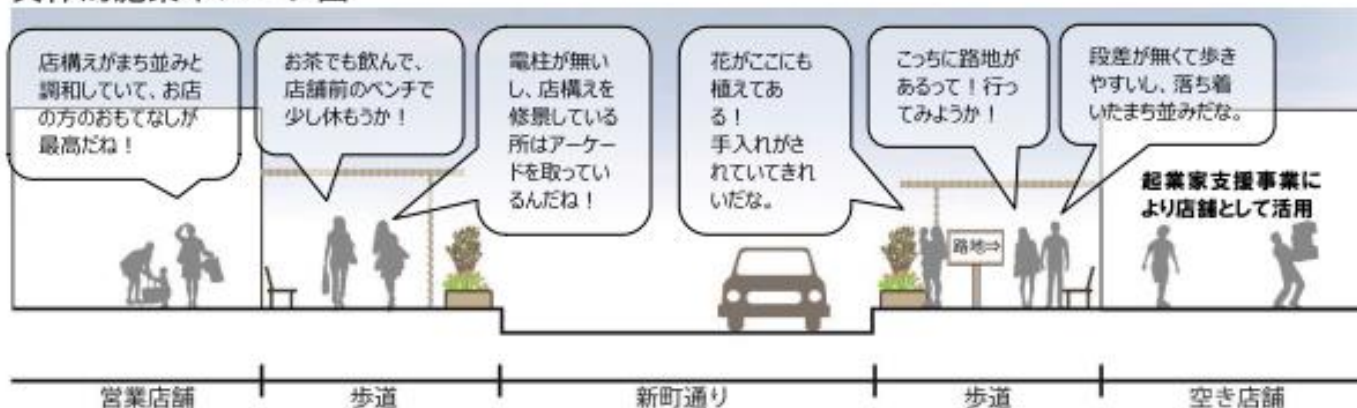
地域の玄関口からのにぎわいの連続性をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策	
・交通発着拠点の整備	
・憩い・交流拠点の整備	
・チャレンジショップや地域の特産品を販売する屋台村の設置等による空き店舗や空き地等の活用	
・商店街における店舗前空間の整備	
・景観形成のルールづくりと電線類の地中化	
・景観形成のルールづくり	
・市民活動と商店街・商店との連携による多様な空き店舗活用 ・歴史的なまち並みの修景（外観や塀）整備	
・分かりやすく、統一感のあるサインの設置	

具体的施策イメージ図



① 水辺のまち並み保全・形成軸

【忍川周辺の水辺空間軸】

忍川を中心に、潤いやすがすがしさが感じられ、誰もが親しみやすい水辺空間を形成します。

水と緑が潤う、癒しの滞留空間をつくる！

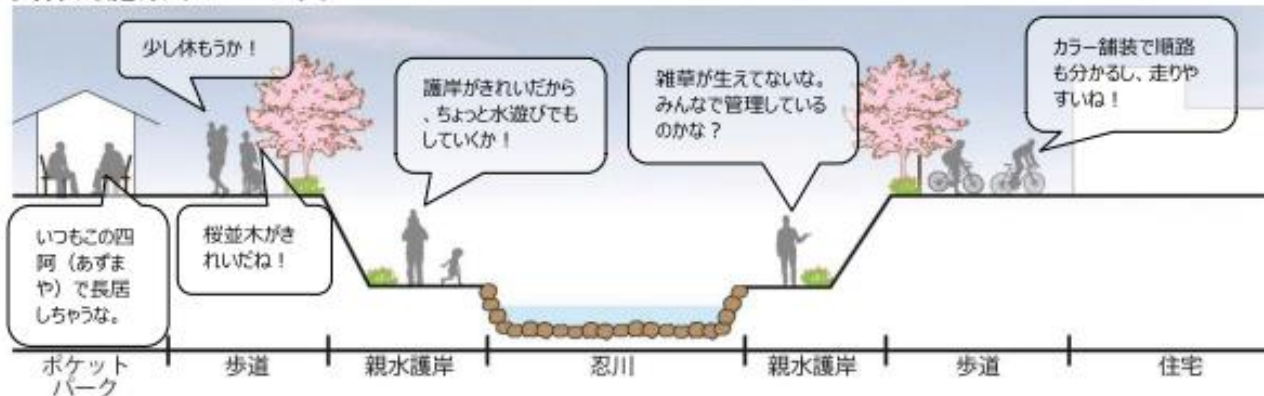
具体的施策展開図



主な具体的施策

・遊歩道の清掃や樹木等の維持・管理	
・親水空間を活用したイベントの実施 ・地域や来訪者の憩いの場所となる親水護岸の整備	
・既存のポケットパークの環境維持・管理による、地域や来訪者が滞留したくなる空間の形成	
・魅力ある、川沿いの遊歩道（カラー舗装）の整備	

具体的施策イメージ図



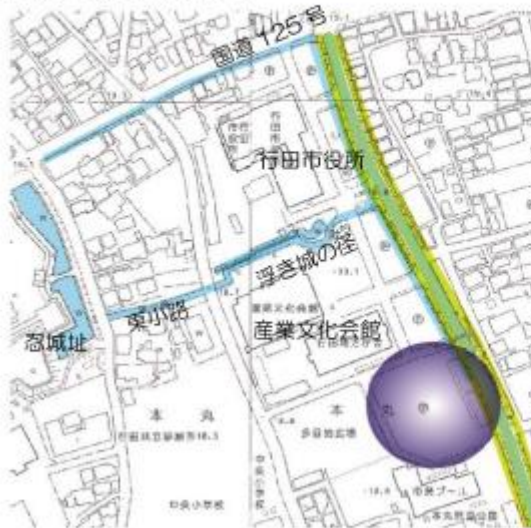
① 行政施設集積地区と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

【行政施設集積地区周辺の都市機能集積軸】






中心官公庁街、忍城址や水城公園等との連携を強化し、都市機能が集積した、にぎわいに満ちた回遊しやすい空間と快適な街路空間を形成します。

回遊性があり、水と緑に親しめる街路空間をつくる！

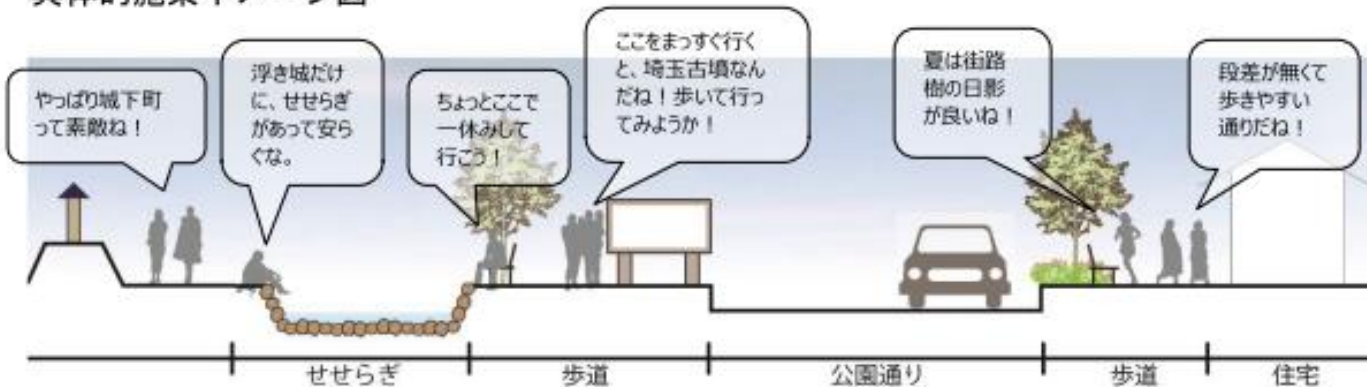
具体的施策展開図



主な具体的施策

- ・観光発着拠点の整備 
- ・ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の充実 
- ・市民との協働による緑化の推進 
- ・幹線道路沿道の街路樹の保全と整備 
- ・せせらぎや遊歩道の整備による憩う場所としての水辺空間の環境整備 

具体的施策イメージ図



(3) 界わい・まちかどの具体的施策

【北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど】

足袋蔵等を活用したまち並みづくりと連続性とまとまりのある生活環境と調和した界わいの形成を図ります。

伝統文化などを体感する交流空間をつくる！

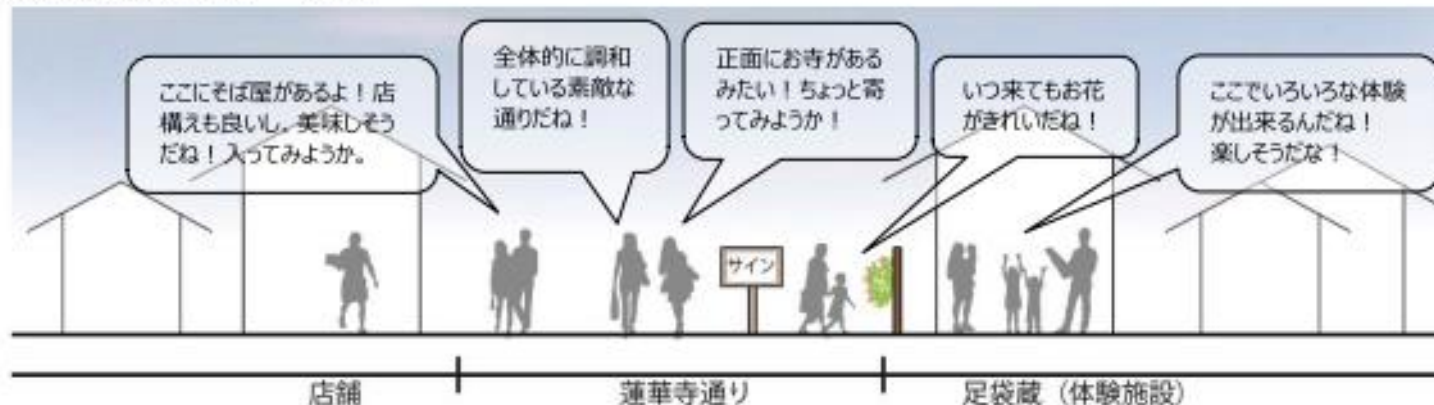
具体的施策展開図



主な具体的施策

- | | |
|--|---|
| ・体験・交流拠点の整備 | ● |
| ・体験施設の充実等によるにぎわいの再生
・歴史的建築物等の保全・活用・維持管理の支援
・まちかど空間の建物の塀や工作物の修景 | ■ |
| ・歴史的なまち並みづくりに向けた外観や塀の補修 | — |
| ・わかりやすいサインの整備 | ○ |

具体的施策イメージ図



【新店通り周辺の界わい・まちかど】

歴史的建築物や空き地を活用したまち並みづくりと昔の鍵曲がりの町割りを活かした界わいの形成を図ります。

市民との協働による、にぎわいのある城下町の散策路をつくる！

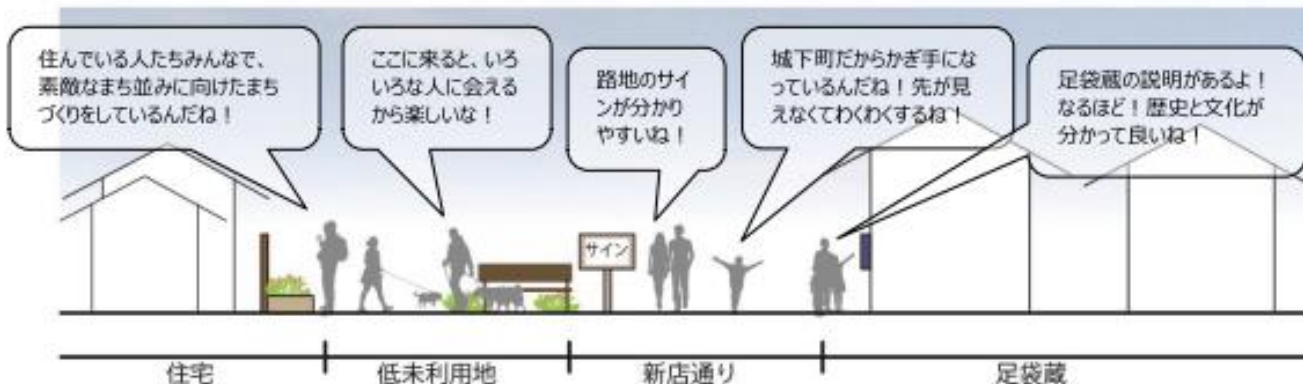
具体的施策展開図



主な具体的施策

- | | |
|--|--|
| • にぎわい・交流拠点の整備 | |
| • 市民との協働による路地空間の緑化の推進 | |
| • わかりやすく統一感のあるサインの整備 | |
| • 建物の修景（外観や塀）整備
• 低利用地の活用によるにぎわいある交流空間の創出 | |
| • 歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並みや環境の整備・管理 | |

具体的施策イメージ図



【八幡通り周辺の界わい・まちかど】

忍城址等とのつながりを強化し、地域のにぎわい創出と歩行者空間の形成を図ります。

にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ・市民との協働による路地空間の緑化の推進 | — |
| ・案内表示と誘導サインの整備 | ○ |
| ・ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備 | — |
| ・歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並み環境の整備・管理 | □ |

具体的施策イメージ図



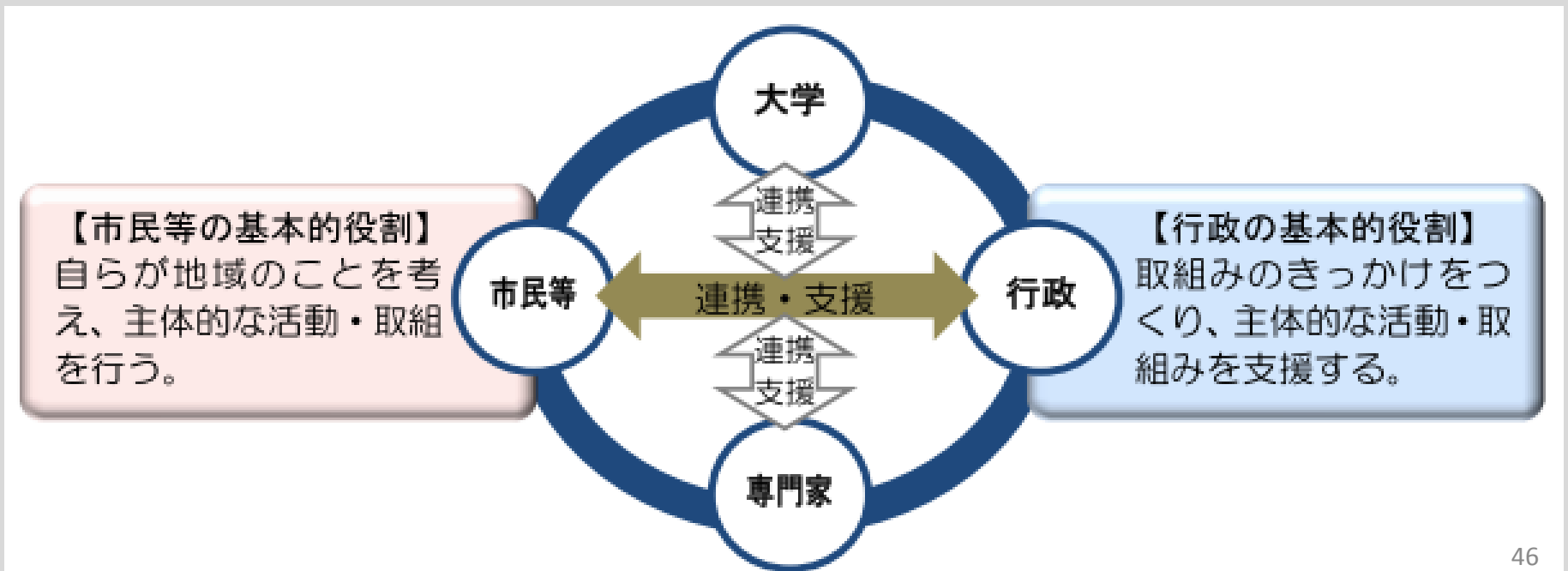
第7章 事業推進に向けたプログラム

1. 施策・事業の実現化方策

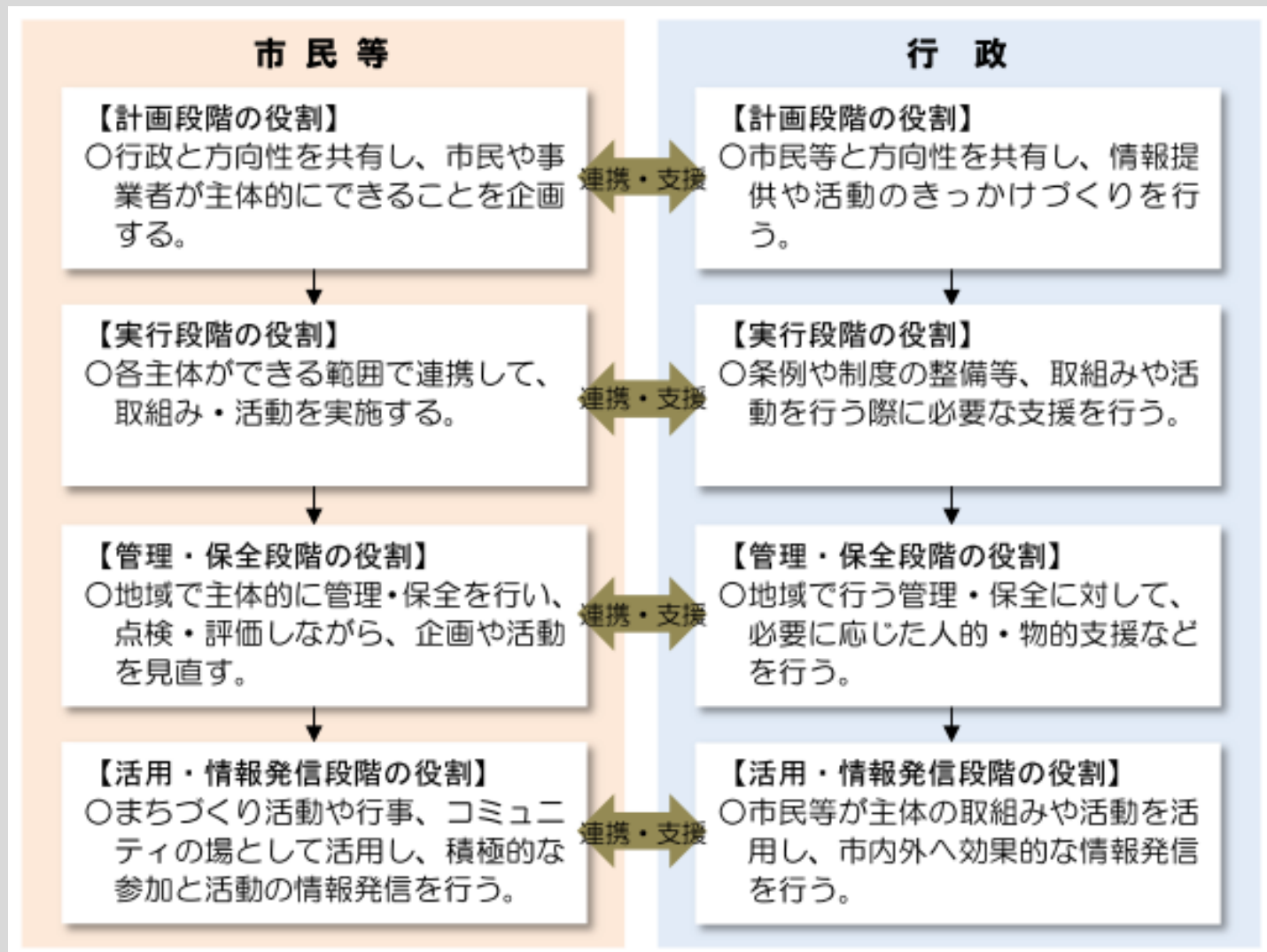
(1) 実現化に向けた基本的な考え方

段階的に産（事業者等）官（行政）学（大学）民（市民）の連携によるまちづくりを推進します。

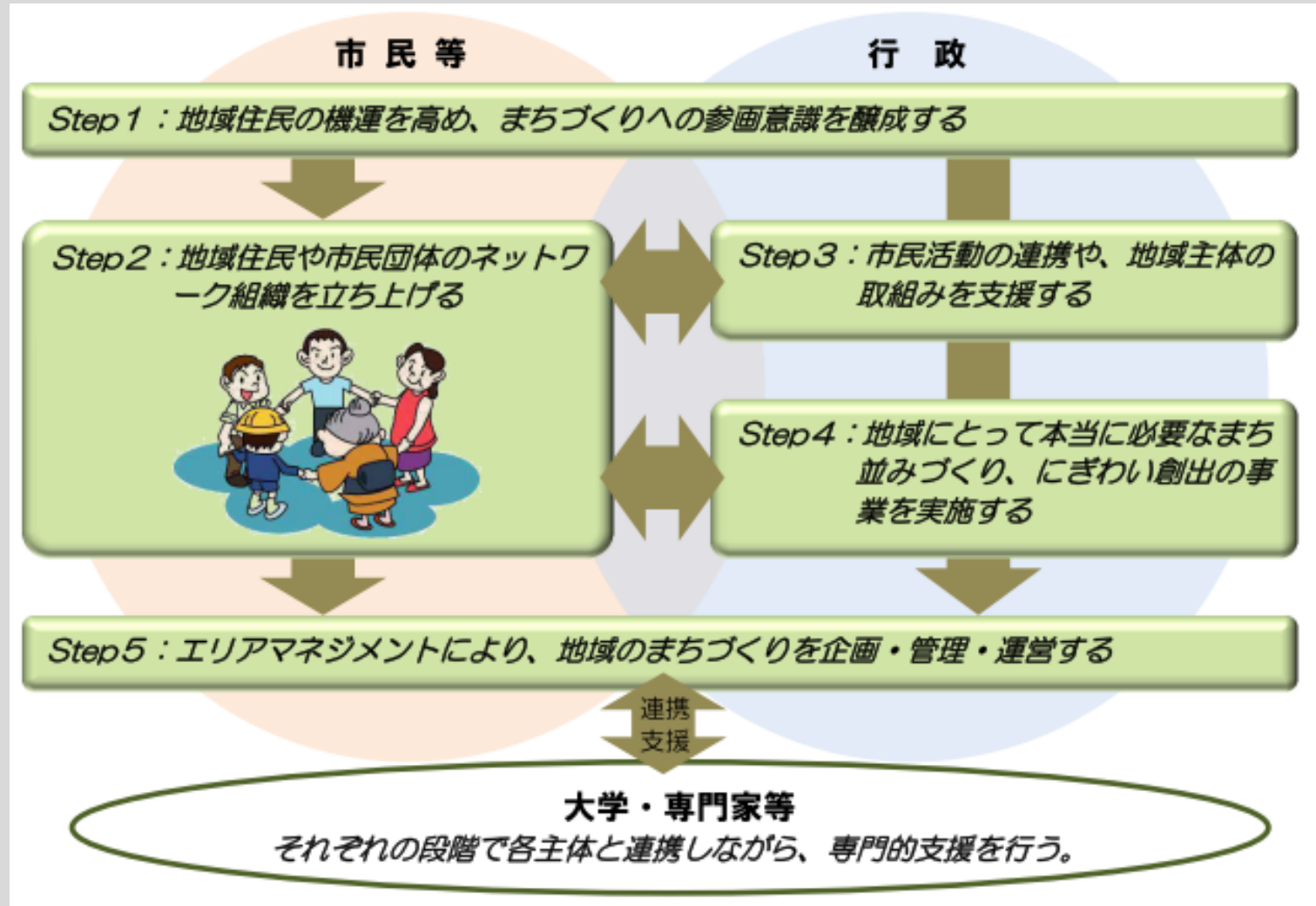
■市民等と行政の基本的役割と各主体との連携体制



■ 各段階における市民等と行政の関わり方



(2) 実現化の流れ



Step 1 : 地域住民の機運を高め、まちづくりへの参画意識を醸成する

【市民等の役割】

- 自分たちが住む地域のまちづくりについて主体的に考える。
- 主体的な取り組みや活動を企画・実践し、地域住民に発信する。

【行政の役割】

- まちづくりの情報を発信したり、まちづくりへ参画するきっかけをつくる。

Step 2 : 地域住民や市民団体のネットワーク組織を立ち上げる

【市民等の役割】

- ネットワークの場に積極的に参加し、地域情報を共有する。
- ネットワークを通じた協議会を立ち上げる。

【行政の役割】

- 市民等が情報共有し、企画を立案するネットワークの場をつくる。

Step 3 : 市民活動の連携や、地域主体の取組みを支援する

【市民等の役割】

- ネットワークの場に積極的に参加し、地域情報を共有する。
- ネットワークの場から協議会を立ち上げる。

【行政の役割】

- 市民等の主体的な取組みや活動を支援するための国等の支援事業の紹介や市による新たな支援事業を検討する。

Step 4 : 地域にとって本当に必要なまち並みづくり、にぎわい創出の事業を実施する

【市民等の役割】

- 空き店舗や空き地活用、まちづくり活動等に取り組み、行政が実施する事業に対して、利用する立場からの提案を行う。

【行政の役割】

- 市民等の主体的な取組みと連携して、効果的な施設や街路等の整備を実施する。

Step 5 : エリアマネジメントにより、地域のまちづくりを企画・管理・運営する

【市民等の役割】

- 地域主体で事業実施後における保全・管理を行う。
- 活動の情報発信や地域の点検を行いながら、新たな取組みや活動を企画する。

【行政の役割】

- エリアマネジメント組織と連携し、地域における管理・保全に対する支援を行う。

2. 段階的な取組内容

■段階的な取組内容と優先度（その1）

■段階的な取組内容と優先度（その1）

施策	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5	優先度
	地域住民の機運を高め、まちづくりへの参画意識を醸成する	地域住民や市民団体のネットワーク組織を立ち上げる	市民活動の連携や、地域主体の取組みを支援する	地域にとって本当に必要なまち並みづくり、にぎわい創出の事業を実施する	エリアマネジメントにより、地域のまちづくりを企画・管理・運営する	
方針1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり						
1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会等の設置		●			●	◎
1-2 地域におけるまち並み点検	●				●	△
1-3 地域資源の発掘とリスト化	●				●	○
1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援			●			◎
1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援			●			◎
1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援			●			△
1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援			●			△
1-8 集客のためのイベントの企画・実施			●			△
1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援			●			△
1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全の支援					●	○
1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信					●	◎
1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成	●				●	◎
方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり						
2-1 景観形成に関するルールづくり			●			○
2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用			●	●		◎
2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備				●		○
2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）			●			○
2-5 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化				●		○
2-6 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置				●		△
2-7 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一			●	●		◎
2-8 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備				●		◎
【再掲】1-2 地域におけるまち並み点検	●					△
【再掲】1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援			●			◎
【再掲】1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援			●			△

優先度：◎＝ワークショップで提案された優先度が高い施策 ○＝◎以外で優先的に取り組む施策 △＝市民等と行政が検討・調整を行いながら進めていく施策

■ 段階的な取組内容と優先度（その2）

■ 段階的な取組内容と優先度（その2）

施策	STEP1 地域住民の機運を高め、まちづくりへの参画意識を醸成する	STEP2 地域住民や市民団体のネットワーク組織を立ち上げる	STEP3 市民活動の連携や、地域主体の取組みを支援する	STEP4 地域にとって本当に必要なまち並みづくり、にぎわい創出の事業を実施する	STEP5 エリアマネジメントにより、地域のまちづくりを企画・管理・運営する	優先度
方針3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり						
3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備				●		◎
3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備				●	●	○
3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全					●	◎
3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備				●		◎
【再掲】1-3 地域資源の発掘とリスト化	●					○
【再掲】1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援			●			△
【再掲】1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援			●			△
方針4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり						
4-1 都市機能の集約に向けた拠点の整備				●		◎
4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備				●		◎
4-3 空き店舗を活用した商店街の活性化			●			◎
4-4 商店街におけるにぎわいが感じられる店舗前空間の形成			●			◎
4-5 若者の定住促進			●			○
4-6 地元の素材を使った特産品の開発及び販売			●			△
【再掲】1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援			●			△
【再掲】1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援			●			△
【再掲】2-1 景観形成に関するルールづくり			●			○
【再掲】2-7 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一			●	●		◎
【再掲】2-8 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備				●		◎
【再掲】3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備				●		◎

優先度：◎＝ワークショップで提案された優先度が高い施策 ○＝◎以外で優先的に取り組む施策 △＝市民等と行政が検討・調整を行いながら進めていく施策

3. 役割分担とスケジュール

■ 施策別の役割分担

■ 施策別の役割分担

施策（再掲は除く）	役割				スケジュール				
	住民	団体	事業者	行政	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	中期（H29～H31 年）	長期（H32～H35 年）
方針1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり									
1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会等の設置	●	●	●	△	■	■	■■■■	■■■■	■■■■
1-2 地域におけるまち並み点検	●	●	●	△				■	■
1-3 地域資源の発掘とリスト化	●	●		△		■	■■■■	■■■■	■■■■
1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援		●		△			■	■	■
1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援	□	●		△	■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援	●		●	△				■	■
1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援	●		●	△				■	■
1-8 集客のためのイベントの企画・実施	●	●		●			■	■	■
1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援	□	●	●	△			■	■	■
1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全の支援	●	●		△			■	■	■
1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信		●	●	△			■	■	■
1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成	□	□	□	●	■	■			
方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり									
2-1 景観形成に関するルールづくり	●	●	□	△				■■■■	■■■■
2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用	●	●		●	■	■	■	■	■
2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備	□	□	□	●	■	■	■	■	■
2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）	●			△	■	■	■	■	■
2-5 回遊するための道路の美化化及び電線類の地中化	□			●	■	■	■	■	■
2-6 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置	□			●				■	■
2-7 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一	●	●		●	■	■	■	■	■
2-8 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備	□			●	■	■	■	■	■

●：主体 □：連携 △：支援

■：実施計画策定期間

■：主な事業・活動実施期間 ■■■■：継続期間

■ 施策別の役割分担

施策	役割				スケジュール				
	住民	団体	事業者	行政	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	中期 (H29~H31 年)	長期 (H32~H35 年)
方針 3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり									
3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		●	■	■	■	■	■
3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	●	■	■	■	■	■
3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全	●	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	△	■	■	■	■	■
3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●	■	■	■	■	■
方針 4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり									
4-1 都市機能の集約に向けた拠点の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●	●	■	■	■	■	■
4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備	<input type="checkbox"/>	●	<input type="checkbox"/>	●	■	■	■	■	■
4-3 空き店舗を活用した商店街の活性化		<input type="checkbox"/>	●	△	■	■	■	■	■
4-4 商店街におけるにぎわいが感じられる店舗前空間の形成	<input type="checkbox"/>	●	●	△	■	■	■	■	■
4-5 若者の定住促進	●		●	△	■	■	■	■	■
4-6 地元の素材を使った特産品の開発及び販売		<input type="checkbox"/>	●	△	■	■	■	■	■

●：主体 □：連携 △支援

■：実施計画策定期間 ■：主な事業・活動実施期間 ■■■：継続期

将来的な全体イメージ（挿入予定）

イメージ・写真

イメージ・写真

イメージ・写真

イメージ・写真

イメージ・写真

イメージ・写真

イメージ・写真

イメージ・写真

